

# HSK

# どうじん

第 125 号

昭和48年 1月13日 第3種郵便物認可  
H. S. K 通巻445号

発行日 平成21年 5月10日(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会  
札幌市北区北17条西2丁目2番38-101

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18  
細川 久美子

## 平成 21 年度

# 第32回道腎協定期総会議案書

KKRホテル札幌 案内図



**KKRホテル札幌**

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目  
TEL 011-231-6711

## 第32回定期総会ご案内

第32回総会を下記のように開催いたします。

会員、ご家族の皆様お誘い合わせのうえご参加下さい。

記

＝ 日 時 ＝

5月31日(日)

10:00～12:00

第32回総会

(昼食)

13:00～15:00

医療講演会

＝ 会 場 ＝

KKRホテル札幌

総会当日はこの議案書をご持参ください。昼食は道腎協で用意します。

北海道腎臓病患者連絡協議会

# 第32回総会次第

開会のあいさつ	…… 10 : 00
黙 と う	
会長あいさつ	
来賓あいさつ	
祝電・メッセージ披露	
議 長 選 出	
議 事	
平成20年度活動報告	
平成20年度決算報告	
平成20年度会計監査報告	
平成21年度活動方針（案）	
平成21年度予算（案）	
平成21・22年度役員（案）	
スローガン（案）	
総会宣言（案）	
議 長 解 任	
感謝状贈呈	
閉会のあいさつ	……12 : 00

— 昼 食 —

道腎協総会記念

## 医 療 講 演 会

13 : 00より

演題 「災害時における透析医療提供体制～福岡県西方沖地震と情報伝達～」

講師 日本透析医会常任理事  
医療法人 くま腎クリニック 院長 隈 博政 先生

# 平成20年度活動報告

平成20年度は北京オリンピックが開催され、女子ソフトボールや水泳の北島康介選手らの活躍に日本が沸きました。オリンピックが終わり秋風の吹く頃には、アメリカ発のサブプライムローン問題を引き金に世界的に金融不安が拡大し100年に1度と言われる世界同時不況に陥りました。日本でも非正規労働者の雇用問題などが注意を引いております。このような事態が今後は国及び地方自治体の税収不足につながり医療福祉に影響を与えるのではないかと懸念されます。また、平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まりましたが、6月に年金から保険料が天引きされて支給されるようになるのと後期高齢者医療制度に対する抗議の声も最大となり、政府も制度の見直しをせざるを得なくなりました。

道腎協ではこれらの問題に対応するため、道庁・各自治体に働きかけるとともに11月には『自治体等広域化・連携構想』に於いて、経営形態の見直しを検討されている透析施設を有する11病院に通院して透析を受けている患者を対象に『通院実態調査』を行い、平成21年1月には通常10年毎に実施している全会員が対象の『北海道透析患者実態調査』を繰り上げて実施するなど、急速に進む医療福祉改革が会員に与えている影響を調査しております。残念なこと今年度も会員の減少が続ぎ、会員数4,000名を切るのではないかと心配されますが、対策の一つでもある24地域腎友会の4グループ化をスタートし、今後の地域活動の活性化と会員拡大につながるよう取組んでいきます。しかし、このような厳しい状況の中でも会員の皆様のご協力により、次のような活動を展開出来ました。

## 1 (社)全腎協と連携しての活動

### (1) 第38次国会請願署名・募金活動

今年度は平成20年8月12日に国会請願用紙を各地域腎友会に発送しました。18地域腎友会で署名活動を展開し、前年を上回る成果をあげました。

この請願は平成21年3月26日(木)に行いました。

●署名 47、482筆

(前年 41、656筆)

●募金 1、671、780円

(前年1、662、131円)

(平成21年3月31日現在)

第37次全腎協国会請願は、平成20年6月19日(木)に衆議院厚生労働委員会、翌20日(金)に参議院厚生労働委員会、それぞれ全会一致で採択されました。

### (2) 国の様々な医療制度への要望活動

「重度心身障害者医療費助成制度の利用を後期高齢者医療制度に加入する者に限定する」という加入条件の問題に全腎協とともに取り組みました。

「限定する」とした10道県のうち3県については条件を撤廃しましたが、北海道に於いては幾度の要請にもかかわらず、残念ながら加入条件を外すことができませんでした。

### (3) 臓器移植推進のため、全道一斉腎提供者拡大街頭キャンペーンを実施

平成20年度全道一斉腎提供者拡大街頭キャンペーンを、平成20年9月28日(日)と、その他地域腎友会により地域のふれあい祭り等の行事日程に合わせて、道内16カ所で患者・家族255名、医療関係者等支援者106名の参加を得て、意思表示カード10、590枚・チラシ等11、040枚を配布し、意思表示カードの記入・携帯をお願いするとともに腎移植療法の理解を訴えました。

# 国会請願署名・募金結果報告

平成21年3月31日現在

地方名	全 腎 協				J A P			
	署 名		募 金		署 名		募 金	
	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度
旭川	3,114	3,876	62,700	82,000	590	1,000	—	—
岩見沢	1,131	1,084	61,079	26,270	449	490	6,000	3,600
浦河	560	719	52,000	22,000	440	661	0	0
江別	660	961	22,285	30,000	200	560	3,500	0
小樽	4,920	5,094	130,000	130,000	2,540	2,640	6,263	8,100
オホーツク	1,812	2,071	11,853	15,740	681	770	0	0
北見	819	1,960	10,000	45,714	795	692	5,000	8,360
釧路	3,190	4,569	180,571	77,657	1,617	2,335	14,000	5,850
札幌	11,280	11,120	550,786	521,383	10,422	10,190	63,272	46,068
伊達	950	1,041	22,857	24,286	302	222	2,500	500
道南	2,541	2,908	48,065	79,920	—	—	—	0
とかち	4,198	3,930	177,143	254,642	940	1,950	0	0
苫小牧	1,566	2,380	108,600	148,700	987	1,370	14,800	22,500
根室	348	294	0	0	78	224	0	0
深川	117	63	4,500	4,000	120	63	1,500	0
室蘭	1,603	2,034	76,300	55,000	834	910	12,400	13,100
紋別	510	497	29,000	39,600	0	0	0	0
留萌	504	531	60,000	42,857	430	512	5,000	4,000
稚内	153	217	8,000	3,000	156	103	0	5,000
士別	356	210	0	0	90	70	0	0
三笠	159	228	13,600	13,300	47	79	0	0
富良野	145	314	18,910	16,000	101	251	3,506	5,000
小清水	609	750	8,882	8,569	269	740	0	10,517
名寄	411	445	5,000	17,142	100	238	0	2,000
個人		186		7,000		177		0
合計	41,656	47,482	1,662,131	1,664,780	22,188	26,247	137,741	134,595

『募金配分割合』全腎協：地域腎友会65%、道腎協20%、全腎協15%

J P A：道難病連50%、J P A 30%、道腎協20%、一は地元難病連支部に納入

## (4) その他の活動

### ① 社全腎協 油井会長、金子副会長との意見交換会

平成20年4月19日(土)・20日(日)、社全腎協北海道ブロック平成20年度第1回(通算64回)ブロック会議に全腎協から油井清治会長、金子智副会長が参加して下さいました。各地域腎友会の活動報告などを直接聞いていただき、北海道ブロックの現状と課題について理解を得ることができました。また、油井会長からは全腎協組織

### ② 社全腎協全国大会(富山)

平成20年5月24日(土)・25日(日)、富山県富山市総合体育館に於いて、全国から1,000名近くの会員・家族等が参加し開催されました。道腎協からは士別腎友会阿部副会長を含む4名が参加しました。

### ③ 社全腎協役員研修会課題別会議

平成20年7月5日(土)・6日(日)、東京ホテルコムズに於いて、各都道府県組織から85名が参加し開催されました。道腎協からは水島運営委員

が出席しました。

1日目は「全腎協組織強化のため」をテーマに研修を行い、2日目は「人権としての社会保障の現状と展望」と題しての講演が行われました。

### ④ 社全腎協全国青年研修会

平成20年8月30日(土)・31日(日)、東京都大森東急インに於いて、全国の青年部代表92名が参加し開催されました。道腎協からは梅原青年部副部長が出席しました。「青年部の活性化」等のテーマで討論をしました。

### ⑤ 社全腎協相談員研修会

平成20年11月1日(土)・2日(日)、東京都大森東急インに於いて開催されました。道腎協からは小平運営委員が出席し「医療費の相談を受けたときのために」をテーマに相談業務の役割と重要性について研修しました。

## 2 道内活動の取り組み

### (1) 重度心身障害者医療費助成制度(マル障)負担増反対の活動

平成20年5月28日付、「重度心身

障害者医療費助成事業」と「後期高齢者医療制度」の関係についての要望書を北海道高橋はるみ知事に提出しました。また、保健福祉課 忠津主幹と面談し、他都府県の動向、厚生労働省事務次官の「対応の検討を促す」発言を伝えました。後期高齢者医療制度非加入を選択した65歳以上74歳迄の障害者に対するマルチ障の適用除外を見直すように求める等、粘り強い運動を展開しましたが、残念な結果となりました。

## (2) 本道における腎疾患総合対策等の活動の充実

① 「腎疾患総合対策」の早期確立の要望書を北海道高橋はるみ知事へ提出

平成20年10月20日付、要望事項6項目についての具体化を要望しました。

1. 後期高齢者医療制度非加入者（65歳以上74歳未満の特定の障害者）に対する重度心身障害者医療費助成制度の適用について

2. 後期高齢者医療制度に於いて、保険料滞納者に対する資格証明証の発行について

3. 腎移植推進普及活動について  
4. 国の療養病床の再編に伴う「北

海道地域ケア体制整備構想」策定その後の結論について

5. 慢性腎臓病（CKD）対策について

6. 自治体病院等広域化・連携構想について

※要望項目については11月20日付、道保健福祉部長より回答書を受取しました。

### ② 道との意見交換会

平成20年12月16日(火)午後1時30分から午後3時30分迄、道庁別館石狩支庁中会議室に於いて、道保健福祉部7課の主幹・主査11名、道腎協役員10名、(社)全腎協北海道ブロック担当理事1名の出席で実施しました。

意見交換会では、道側から「腎疾患対策の早期確立の要望書」への回答書の背景についての説明を受けるとともに、道腎協側からは活発な質問や6項目以外の要望も発言され大変有意義な意見交換会となりました。次年度も是非、同様な機会を得たいと思います。

③ 空知地区市民公開講座「腎不全の最新治療」を後援

平成20年6月14日(土)、砂川市に於いて開催された札幌腎不全治療懇話会主催の市民公開講座を後援し、旭

川地方腎友会、江別腎友会、札幌腎臓病患者友会の会と協力して患者会活動のパネル展示・パンフレット配布等の広報活動を行いました。

### ④ 透析患者通院実態調査の実施

「自治体病院広域化・連携構想」により診療所化等の改革対象となっている47病院中、透析施設を有する11病院のうち9病院の協力を得て、通院透析患者を対象に平成20年11月5日現在の状況で「透析患者通院実態調査」を実施しました。調査結果報告書は、平成20年12月16日(火)開催の「道との意見交換会」の地域医療（透析施設）の確保について要望への参考資料として添付し、今後道及び市町村に対しての施設維持活動の基礎資料とします。

### ⑤ 北海道透析患者実態調査の実施

昭和53年以後、定期的に透析患者の実態調査を実施してきました。今年度は激変した医療福祉政策が透析患者に与えた影響を把握し今後の道腎協の指針を得るために、3年前倒しとなりましたが会員の皆様を対象に平成21年1月31日現在の状況で「北海道透析患者実態調査」を実施しました。

平成21年秋までには、調査結果報

告書を配布できるようにと、現在、集計・分析作業を行っております。

### (3) 道腎協青年部の取り組み

平成20年7月26日(土)・27日(日)、道腎協青年部第13回交流会（勉強会）を占冠村トナムに於いて開催し、

「しっかり透析して、食べて、運動して、元気になろうパート2」と題して、透析量・栄養摂取・運動と死亡リスクについて学習しました。平成21年2月14日(土)・15日(日)、道腎協青年部第14回交流会（勉強会）を旭川市に於いて開催し、在宅血液透析を行っている会員の自宅を訪問し在宅血液透析の長所・短所及び療法に掛かる経費等について学習しました。その他、道腎協各諸行事の協力、

その他、道腎協各諸行事の協力、会報「KINOH」通信の発行、機関誌「どうじん」KINOHコーナーへの寄稿などを行いました。

### (4) 道難病連との連携を強め、

日本難病・疾病団体協議会（JPA）の国会請願署名・募金活動

### ① 日本難病・疾病団体協議会（JPA）国会請願署名・募金活動

全腎協第38次国会請願署名と同時

に実施し、前年を上回る成果をあげました。

● 署名 26、247筆

(前年 22、188筆)

● 募 金 134、595円

(前年 122、941円)

(平成21年3月31日現在)

② 第35回(勸)北海道難病連全道集会

七飯大会

平成20年8月2日(土)・3日(日)、七飯町大中山コモンに於いて開催しました。3日には道南腎友会の協力を得て腎臓病部会分科会の医療講演会を会員・家族等43名の参加で開催しました。講師に函館市平田泌尿器科副院長の小村秀樹先生を迎え「最近の透析医療の動向」と題して講演していただきました。

### 3 組織・財政・広報 活動について

(1) 道腎協組織強化のため、

6,000名の会員を目標

① 6,000名の会員実現に各腎

友会とともに努めてきましたが、その結果は残念にも前年度末の

4,012名をも下回る状況です。道腎協としては、この状況を打破

することを目的に24地域腎友会を4グループにしました。

すでに各グループは準備会議を終えております。次年度からは、

グループ内での意思の疎通と活動の活性化を通じて会員拡大につなげます。

② 解散した滝川腎友会及び休会中の

静内腎友会の活動再開に向けて、滝川市に3度、新ひだか町に

2度の施設訪問をして院長及び事務長と面談し患者会活動への理解、患者会作り・患者会活動再開

への協力をお願いしました。好意的な返事をいただきましたので、今後は近隣腎友会の協力を得て具体化していきます。

③ 各地域腎友会の総会や役員会に

道腎協役員が出席し、(社)全腎協・道腎協活動の現況、患者会活動の意義、会員拡大等について説明をしました。

(2) 総会・ブロック会議・

運営会議の充実

● 総 会

平成20年6月1日(日)、第31回道腎

協定期総会が滝川市滝川ホテル三浦華園に於いて、来賓として釣部道議

会議長、田村滝川市長など8名、全道各地より会員・家族130名の参加のもと盛大に開催されました。

午後からは、砂川市立病院泌尿器科高塚慶次先生を講師に迎え、「①医療崩壊・現状と打開 ②腎不全と尿路感染 ③腎機能低下時カルシウム(Ca)・リン(P)代謝異常症への二、三の助言」を演題に医療講演

会が行われました。

開催地決定後の平成19年10月に地元滝川腎友会が解散し、一時は滝川市での開催が危ぶまれましたが、旧滝川腎友会役員川口氏・相川氏ほかの個人会員の皆様のご協力により、

前日の交流会、総会、医療講演会を盛会のうち終了できました。

●(社)全腎協北海道ブロック会議

① 平成20年度第1回(通算64回)ブロック会議

平成20年4月19日(土)・20日(日)、札幌市のホテルユニオンに於いて役員等28名が参加し、第31回道腎協定期総会議案書等について審議しました。

両日とも全腎協油井会長、金子副会長に参加していただきました。

② 平成20年度第2回(通算65回)ブロック会議

平成20年10月11日(土)・12日(日)、旭川市のロワジールホテル旭川に於いて役員等45名が参加し道腎協前期活動報告等について審議しました。

なお、本会議に於いて、道腎協組織改革の一環として24地域腎友会の4グループ化案が承認されました。各グループはそれぞれ準備会議を開くなど次年度からの本格始動に向けて活動を進めています。

● 運営会議

① 平成20年度第1回運営会議

平成20年6月28日(土)、札幌市のK Rホテル札幌に於いて8名の出席で開催し、平成20年度活動方針の具体化等について審議しました。

② 平成20年度第2回運営会議

平成20年9月20日(土)・21日(日)、札幌市のK Rホテル札幌に於いて10名の出席で開催しました。北海道透析患者実態調査、道との意見交換会、24地域腎友会の4グループ化など重要議題が重なったため、2日間にわたる長時間の審議となりました。また、本会議で平成21年度・22年度の役員選考委員会委員を選定しました。

③ 平成20年度臨時運営会議

平成20年12月16日(日)、札幌市のKKRホテル札幌に於いて11名(代理2名)の出席で開催しました。本会議は、当日午後1時30分からの「道との意見交換会」に各委員が来札される機会に、午前11時から平成21年度・22年度役員案について審議し、役員選考委員会案を一部修正し承認しました。

④ 平成20年度第3回運営会議

平成21年3月7日(土)・8日(日)、札幌市のKKRホテル札幌に於いて10名の出席で開催しました。第32回道腎協定期総会議案書、道腎協組織検討委員会報告等について審議しました。本運営会議の申し合わせにより、次回の運営会議からは、議長は副会長が交代で務め、また、議事録については運営委員が交代で作成することとしました。

●組織検討委員会

平成20年度第1回組織検討委員会  
平成20年6月29日(日)、札幌市のKKRホテル札幌に於いて6名が出席。

平成20年度第2回組織検討委員会

平成20年11月8日(土)・9日(日)、札幌市のKKRホテル札幌に於いて

て8名が出席。

平成20年度第3回組織検討委員会

平成21年2月21日(土)・22日(日)、札幌市のKKRホテル札幌に於いて8名が出席。

平成18年6月25日から検討を重ねてきました第2次組織検討委員会は、平成20年度第1回会議に於いて「24地域腎友会の4グループ化」への提言、第2回会議及び第3回会議に於いては「24地域腎友会の4グループ化」後の活動活性化への裏付けとなる資金捻出のため、道腎協会計の支出科目の精査を行い道腎協発足以来、初の組織改革を提言しました。

他にも地域腎友会組織助成金の増額など、道腎協活性化策を提言しました。

なお、第2次組織検討委員会は、平成20年度第3回組織検討委員会提言をもちまして解散となりました。

(3) 役員研修会を開催

平成20年10月12日(日)、旭川市のワジールホテル旭川に於いて、講師に(社)全腎協常務理事 栗原紘隆氏を迎えて、役員等45名の参加で開催さ

れました。

「全腎協の歴史と展望」を演題に、全腎協が現在取り組んでいる課題、患者団体の結成と歴史、全腎協のこれからについて講話をいただき、その後、参加者との質疑応答があり有意義な研修となりました。

(4) 腎臓移植基金募金活動

腎臓移植啓発活動推進に少しでも役立つよう、募金活動を実施しました。募金額31,403円全額を、平成21年3月31日(木)、(財)北海道腎臓バンクに寄付しました。

(5) 機関誌「どうじん」の年

5回(議案書含む)の発行と、役員に(社)全腎協発行「医療通信」の配布

自立支援医療の特例の延長など透析患者の医療福祉で、早急にお知らせすべき事項が掲載された(社)全腎協発行「医療通信」につきましては、直ちに各地域腎友会へ配布いたします。



総会に参加する  
CAPDの患者の皆様へ

控室と加温器を用意しておりますので、  
ご参加をお待ちしております。

# 平成20年度一般会計決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

## (収入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	%	備 考
会 費	17,640,000	15,905,050	90.2	
会 費 未 納 分	433,650	536,900	123.8	前年度分
配 分 交 付 金	326,000	326,000	100.0	道の助成金
事 業 収 入	400,000	704,600	176.2	
寄 附 金	20,000	486,000	243.0	
物 品 販 売 益	20,000	19,500	97.5	
広 告 料	380,000	430,000	113.2	どうじん広告料
雑 収 入	50,000	60,059	120.1	
運営安定会計繰入金	1,500,000	1,500,000	100.0	
小 計	20,769,650	19,968,109	96.1	
前 期 繰 越 金	248,045	248,045	100.0	
合 計	21,017,695	20,216,154		

## (支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	%	備 考
会 議 費	1,100,000	1,002,927	91.2	
運 営 会 議 費	500,000	601,347	120.3	旅費、会場費6、9、3月開催
役 員 研 修 会 費	200,000	118,060	59.0	10月
全 腎 協 参 加 費	150,000	111,660	74.4	大会・交流会費
難 病 連 参 加 費	250,000	171,860	68.7	全道集会(七飯町)、他
負 担 金	7,698,000	7,174,950	93.2	
加 盟 分 担 金	138,000	138,000	100.0	難病連
全 国 会 負 担 金	7,560,000	7,036,950	93.1	全腎協
事 業 費	5,480,000	4,751,738	86.7	
総 会 費	1,700,000	1,468,733	86.4	滝川(議案書含む)
機 関 紙 費	2,000,000	1,752,643	87.6	4回発行、どうじん・ぜんじんきょう他発送
活 動 費	1,600,000	1,317,419	82.3	
青 年 部 活 動 費	180,000	212,943	118.3	
事 務 局 運 営 費	4,378,000	4,033,927	92.1	
通 信 費	50,000	54,435	108.9	切手他
事 務 用 品 費	40,000	36,853	92.1	
新 聞 図 書 費	60,000	45,927	76.5	
交 通 費	120,000	191,680	159.7	
家 賃	1,008,000	1,008,000	100.0	1ヶ月84,000円
電 話 料	130,000	115,252	88.7	パソコン通信他
雑 費	220,000	175,820	79.9	振替他
水 道 光 熱 費	190,000	164,686	86.7	水道、電気、ガス料金
備 品 費	270,000	222,440	82.4	コピーリース他
慶 弔 費	50,000	100,800	201.6	
事 務 局 手 当	2,200,000	1,917,443	87.2	事務局長・アルバイト
法 定 福 利 費	40,000	591	1.5	労災保険
予 備 費	461,695	0	0.0	
運営安定会計繰出金	1,900,000	3,000,000	157.9	
次 期 繰 越 金	-	252,612		
合 計	21,017,695	20,216,154	96.2	



## 平成20年度特別会計決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

### (収入の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
北海道ブロック育成費	847,000	847,000	全腎協より
国会請願募金	350,000	399,619	
キャンペーン売上金	200,000	161,900	キャンペーン宣材
募 金 箱	30,000	31,403	腎臓移植基金
雑 収 入	2,000	1,498	
運営安定会計繰入金	1,200,000	1,200,000	
前期繰越金	51,592	51,592	
合 計	2,680,592	2,693,012	

### (支出の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
ブロック会議	1,300,000	1,253,439	4、10月開催
用品購入代	200,000	197,368	キャンペーン宣材
地域患者会組織助成金	1,000,000	434,320	6腎友会助成、グループ会議
移植推進活動費	30,000	13,280	
雑 費	40,000	37,882	発送費
通 信 費	5,000	4,594	
腎臓移植基金	30,000	31,403	道腎バンクへ寄附
予 備 費	75,592	0	
運営安定会計繰出金	0	700,000	
次期繰越金	-	20,726	
合 計	2,680,592	2,693,012	

## 平成20年度30周年記念積立金決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

### (収入の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
雑 収 入	0	35,000	
受 取 利 息	2,000	3,096	
前期繰越金	1,242,219	1,242,219	
合 計	1,244,219	1,280,315	

### (支出の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
雑 費	0	555	
通 信 費	100,000	109,866	
予 備 費	1,144,219	0	
繰 出 金	0	1,169,894	安定会計へ
合 計	1,244,219	1,280,315	

## 平成20年度備品積立金決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

### (収入の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
今期積立金	50,000	50,000	
受 取 利 息	200	0	
前期繰越金	355,041	355,041	
合 計	405,241	405,041	

## 平成20年度運営安定会計決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

(収入の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
受 取 利 息	5,000	3,619	
繰 入 金	1,900,000	4,869,894	一般300万、特70万、30周年1,169,894円
前 期 繰 越 金	6,718,118	6,718,118	
合 計	8,623,118	11,591,631	

(支出の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
繰 出 金	3,250,000	4,250,000	一般150万、特別120万、35周年150万、備品費5万
予 備 費	5,373,118	0	
次 期 繰 越 金	-	7,341,631	
合 計	8,623,118	11,591,631	

## 平成20年度災害義援金決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

(収入の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
受 取 利 息	6,000	4,989	
前 期 繰 越 金	3,698,790	3,698,790	
合 計	3,704,790	3,703,779	

## 平成20年度35周年記念積立金決算報告

自 平成20年4月1日  
至 平成21年3月31日

(収入の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
今 期 積 立 金	1,500,000	1,500,000	安定会計より
合 計	1,500,000	1,500,000	

(支出の部)

科 目	予算額	決算額	備 考
通 信 費		60,407	
資 料 費		120,953	
雑 費		4,140	
次 期 繰 越 金		1,314,500	
合 計		1,500,000	

## 会 計 監 査 報 告

平成20年度決算書に基づき、関係帳簿、領収書、預金通帳等を厳正に精査した結果、決算書の通り相違なく、いずれも正確、妥当である事を報告いたします。

平成21年4月2日

会計監査役 野 原 寿 二 ㊟

会計監査役 福 原 真 理 子 ㊟

# 平成21年度活動方針(案)

昨年を振り返ってみると、アメリカ経済金融危機により世界的経済不況へと…。日本国内も同様に大手を始め輸出企業等の不況により雇用問題へと移行、非正規労働者を含む労働者の解雇へと発展。国内外共に仕事と住居を求める人が大勢いる状態が今も続いています。

ところで、今年は衆議院選挙の年です。昨年スタートしたばかりの後期高齢者医療制度についても、与党・野党共に改正の必要があるとそれぞれ声があり、また、今年は介護保険の見直しの年でもあります。いずれにしても国の医療、社会福祉に関する制度は後退の一途をたどっています。また、北海道の公立病院も赤字や医師・看護師スタッフ不足等により、道は「自治体病院広域化・連携構想」の推進を表明し、すでに透析施設を含む病院で休止、閉鎖した病院もあると聞いています。

このような社会情勢の中、道腎協の会員数も4,000名を割り、これから更に会員拡大を行わなければならぬ状況の中、各地域腎友会の活動を活発にするため、道内24地域

腎友会を4グループに分け独自に活動をしていただくと考えています。道腎協は各地域腎友会があつての道腎協です。会員皆で団結してこの難関を突破していきましょう。

## 1 (社)全腎協と連携 しての活動

(1) 第39次国会請願署名・募金活動に取り組みます。

患者団体として単独で38年間、国会に請願をしてきた活動です。全国の透析患者は毎年1万人以上増加し、平成19年末では27万5千人を超えており、特に導入患者の43・4%は糖尿病性腎症の患者であり平均導入年齢65・8歳と高齢化が進んでいます。このような腎臓病患者の実態を踏まえ、腎疾患分野における「腎疾患総合対策等」の早期確立を国に要望する運動です。今年度も目標5万筆として、道腎協の総力を結集し進めます。

(2) 医療・福祉に関する問題に対し

て共に活動を進めます。  
昨年度スタートした後期高齢者医療制度及び介護保険の改定等、国の医療・福祉に関する見直しに対して全国の仲間と協力して活動をします。

(3) 臓器提供意思表示カード携帯者拡大のため、全道一斉臓器提供者拡大街頭キャンペーンを実施します。

今年度は全道一斉臓器提供者拡大街頭キャンペーンを9月27日に設定しますが、各地域腎友会は各市町村で実施する健康まつり等の場を利用し実施するのも良い方法と考えます。また、移植者、移植希望者への積極的な参加を促し広く道民に訴えたいと思います。

## 2 道内活動の 取り組み

負担増反対を継続して取り組みむと同時に、後期高齢者医療制度制定により、同制度非加入者に対するマル障の負担増適用除外に反対し適用を認めるよう引き続き運動をしていきます。

(2) 本道における透析施設の縮小を阻止する運動を展開します。

道は北海道医療対策協議会自治体等広域化検討分科会に於いて「自治体病院等広域化・連携構想」を決定し推進を表明、自治体病院の赤字や医師・看護師等の不足により自治体病院を再編成する計画です。この計画により、すでに廃止になった透析施設もあるところから、全道の仲間と一緒に透析環境が悪化しないよう活動していきます。

(3) 本道における腎疾患総合対策等の充実に努めます。

透析患者の様々な要求及び透析予備軍を少しでも減少させるよう、旭川市で慢性腎臓病(CKD)シンポジウムを開催します。また、今後道との意見交換会を開催し要望していきます。

(1) 重度心身障害者医療費助成制度(マル障)負担増反対を継続して取り組みます。

重度心身障害者医療費助成制度

(4) 道腎協青年部の育成に取り組みます。

今年度も研修会・交流会を通じて、全道の青年部員の発掘や道腎協諸行事への積極的な参加をすすめます。

(5) 道難病連との連携を強め、日本難病・疾病団体協議会（JPA）の国会請願署名・募金活動などにも取り組みます。

私たち透析患者団体もJPAの一組織として、障害者自立支援法や介護保険の改正等に一緒に取り組み、国会請願署名・募金活動にも協力していきます。

### 3 組織・財政・広報活動について

(1) 道腎協組織率アップのため、24地域腎友会を4グループに分け活動を強化します。

道腎協の組織率は、30%を切り低迷が続いています。会員拡大の中核となる地域腎友会組織を活発化させるため、24地域腎友会を4グループに分け、近隣地域腎友会が合同で行う交流・医療講演等を通じて、役員の発掘、会員組織率

アップにつながるよう道腎協からも助成を行います。

(2) 総会・ブロック会議・運営会議の充実に努めます。

#### ●総会

限られた時間での会議でありますから、事前に文書による意見を広く募集し、効率的な運営に努めます。

#### ●(社)全腎協北海道ブロック会議

地域腎友会からのオプザーバー参加者の助成を維持し、後継役員の育成を図ります。

#### ●運営委員会

4グループから選出された、副会長各1名、運営委員各2名で構成される委員会で、各グループの活動・要望などを直ちに反映できる会議運営に努めます。

(3) 役員研修会を開催します。

例年通り10月のブロック会議の後に実施します。青年部役員、地域腎友会后継役員育成の為に、地域腎友会組織に役員以外で1名の参加助成を致します。積極的に参加をお願いします。

(4) 腎臓移植基金の為、募金活動を

進めます。

腎臓移植啓発活動増進に少しでも役立つように、今年度も全額を北海道腎臓バンクに寄付します。2月、8月を回収月にします。

(5) 機関誌「どうじん」の年5回（議案書含む）の発行と、役員に（社）全腎協発行「医療通信」の配布に努めます。

医療講演会、医療保険制度、公費医療制度、最新の社会保障制度

変更などを主に掲載していきます。特に医療講演会は講演内容をすべて掲載します。

また、道腎協・4グループ・地域腎友会の活動状況がすべての会員に伝わるよう、内容が充実した紙面にしたいと思います。

(6) 新医療法等、患者に対する医療福祉の情報を早くお知らせするよう、緊急なもの、機関誌「どうじん」臨時号を発行します。

規約第6条第2項により会員は文書でご意見を述べるができます。活動方針案等に対し、ご意見を書いてお送りください。

送付先：〒011-0017

札幌市北区北17条西2丁目2-38

サザンアベニュー北大101 道腎協

FAX 011-747-0217

5月22日必着

# 平成21年度一般会計予算(案)

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

## (収入の部)

科 目	決算額	予算額	構成比	備 考
会 費	15,905,050	16,800,000	85.5	4,000名×@4,200
会費未納分	536,900	84,000	0.4	
配分交付金	326,000	326,000	1.7	難病連を通じて道からの助成金
事業収入	704,600	500,000	2.5	チラシ折込料、紹介料他
寄附金	486,000	20,000	0.1	
物品販売益	19,500	20,000	0.1	物品、本の販売
広告料	430,000	380,000	1.9	どうじん広告料
雑収入	60,059	50,000	0.2	受取利息他
運営安定会計繰入金	1,500,000	1,500,000	7.6	
小 計	19,968,109	19,680,000	100.0	
前期繰越金	248,045	252,612		
合 計	20,216,154	19,932,612		

## (支出の部)

科 目	決算額	予算額	構成比	備 考
会 議 費	1,002,927	1,050,000	5.3	
運営会議費	601,347	600,000	3.0	旅費、会場費、6、9、3月開催
役員研修会費	118,060	200,000	1.0	10月地域腎友会役員以外1名
全腎協参加費	111,660	150,000	0.8	大会(愛知県1名)、他
難病連参加費	171,860	100,000	0.5	全道集会(札幌市)、他
負 担 金	7,174,950	7,338,000	36.8	
加盟分担金	138,000	138,000	0.7	難病連へ
全国会負担金	7,036,950	7,200,000	36.1	4,000名×1,800円(全腎協)
事 業 費	4,751,738	4,710,000	23.6	
総 会 費	1,468,733	1,300,000	6.5	(議案書含む)札幌市開催
機関紙費	1,752,643	1,700,000	8.5	4回発行、医療通信、発送費含む
活動費	1,317,419	1,500,000	7.5	会長、役員活動他
青年部活動費	212,943	210,000	1.1	交流会・勉強会
事務局運営費	4,033,927	4,298,000	21.6	
通信費	54,435	50,000	0.3	切手代他
事務用品費	36,853	40,000	0.2	
新聞図書費	45,927	60,000	0.3	新聞代、他
交通費	191,680	220,000	1.1	
家賃	1,008,000	1,008,000	5.0	84,000×12ヶ月
電話料	115,252	130,000	0.6	電話料、パソコン通信
雑費	175,820	200,000	1.0	振り込み料他
水道光熱費	164,686	160,000	0.8	水道、電気、ガス料金
備品費	222,440	270,000	1.4	コピーリース他
慶弔費	100,800	50,000	0.3	
事務局手当	1,917,443	2,100,000	10.5	事務局長、アルバイト
法定福利費	591	10,000	0.1	雇用保険(1名)
予 備 費	0	536,612	2.7	
運営安定会計繰出金	3,000,000	2,000,000	10.0	
次期繰越金	252,612	-		
合 計	20,216,154	19,932,612	100.0	

## 平成21年度特別会計予算(案)

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

### (収入の部)

科 目	決算額	予算額	備 考
北海道ブロック育成費	847,000	847,000	全腎協より
国会請願募金	399,619	350,000	20%
キャンペーン売上金	161,900	20,000	キャンペーン宣材
腎疾患啓発事業費	—	1,000,000	
募 金 箱	31,403	20,000	
雑 収 入	1,498	1,000	受取利息他
運営安定会計繰入金	1,200,000	1,800,000	
前期繰越金	51,592	20,726	
合 計	2,693,012	4,058,726	

### (支出の部)

科 目	決算額	予算額	備 考
ブロック会議	1,253,439	1,300,000	4・10月開催(10月とがち開催)
用品購入代	197,368	400,000	キャンペーン宣材仕入れ
地域患者会組織活動費	434,320	1,200,000	
CKD活動費	—	1,000,000	
移植推進活動費	13,280	20,000	
雑 費	37,882	40,000	宣材発送費他
通 信 費	4,594	5,000	
臓器移植基金	31,403	20,000	腎臓バンクへ寄付
予 備 費	0	73,726	
運営安定会計繰出金	700,000	0	
次期繰越金	20,726	—	
合 計	2,693,012	4,058,726	

## 平成21年度35周年記念積立金予算(案)

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

### (収入の部)

科 目	決算額	予算額	備 考
今期積立金	1,500,000	0	
受取利息	0	1,000	
前期繰越金	0	1,314,500	
合 計	1,500,000	1,315,500	

### (支出の部)

科 目	決算額	予算額	備 考
通 信 費	60,407	100,000	
資 料 費	120,953	50,000	
雑 費	4,140	10,000	
製 本 費	0	650,000	
予 備 費	0	505,500	
次期繰越金	1,314,500	0	
合 計	1,500,000	1,315,500	

## 平成21年度備品積立金予算(案)

(収入の部)

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

科 目	決算額	予算額	備 考
今 期 積 立 金	50,000	50,000	
前 期 繰 越 金	355,041	405,041	
合 計	405,041	455,041	

## 平成21年度運営安定会計予算(案)

(収入の部)

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

科 目	決算額	予算額	備 考
受 取 利 息	3,619	4,000	
繰 入 金	4,869,894	2,000,000	一般会計
前 期 繰 越 金	6,718,118	7,341,631	
合 計	11,591,631	9,345,631	

(支出の部)

科 目	決算額	予算額	備 考
繰 出 金	4,250,000	3,350,000	一般150万、特別180万、備品5万
予 備 費	0	0	
次 期 繰 越 金	7,341,631	5,995,631	
合 計	11,591,631	9,345,631	

## 平成21年度災害義援金予算(案)

(収入の部)

自 平成21年4月1日  
至 平成22年3月31日

科 目	決算額	予算額	備 考
受 取 利 息	4,989	5,000	
前 期 繰 越 金	3,698,790	3,703,779	
合 計	3,703,779	3,708,779	

## 平成21年度スローガン(案)

- 一、後期高齢者医療制度加入の有無に関わらず重度心身障害者医療費助成制度の適用を!
- 一、本道における腎疾患総合対策の充実を!
- 一、全道どこでも自己の生活圏で透析を受けられる地域医療の充実を!
- 一、腎臓移植推進の道民啓発活動の拡大を!
- 一、強固な組織、会員5,000名の道腎協を!
- 一、国会請願署名、50,000筆を目標に取り組みを!

## 総 会 宣 言 (案)

北海道腎臓病患者連絡協議会は昭和52年10月1日に、札幌市の「サッポロハイツ」において、全道7地域146名の患者会として結成されました。

32年が過ぎようとしている現在、私たちを取り巻く環境は大きく悪化しつつあります。

道内の地域医療は、医師等医療スタッフ不足と自治体財政の悪化により、道立病院を含む自治体病院の病床削減・経営形態の見直しが進められており、患者会活動の原点である『いつでも、どこでも、だれでも』透析医療を受けられる体制が崩れようとしております。

道腎協は、この大変な時代に対応しうる組織強化のため、24地域腎友会を4グループにし、地域腎友会の連帯と会員の増強をすすめます。

ここに第32回定期総会を機に、患者会組織の原点を顧みて、透析医療と社会福祉の保持に向かって活動していくことを宣言します。

平成21年5月31日

北海道腎臓病患者連絡協議会  
第32回定期総会札幌大会



# 道 腎 協 規 約

## 第1章 総 則

(名称及び所在地)

第1条 この会の名称は、北海道腎臓病患者連絡協議会と称する。道腎協と略称し、本文において以下『本会』と記す。

2 本会の所在地(事務局)は次のとおり。  
札幌市北区北17条西2丁目2-38-101  
(組 織)

第2条 本会は、腎臓病患者とその家族を主たる会員とする『患者会組織』(原則として地域の複数以上の患者団体)で構成される連絡協議会とする。また、本会の事業を賛助するために加入した特別会員(個人又は団体)をもつて構成する。

2 本会は社団法人全国腎臓病協議会(略称・全腎協)及び財団法人北海道難病連(略称・道難病連)に加盟する。

3 本会への加入は、『患者会組織』加入を原則と

し、運営会議の議を経て、ブロック会議の承認を得て、総会で加入の可否を決定する。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 本会の目的は次の通りとする。

(1) 腎臓病患者・家族の医療と権利を守り、真の社会保障制度の確立をめざす

(2) 腎臓病の治療と予防のための医療体制および研究体制の充実と向上をめざす

(3) 腎臓病患者相互の経験交流と親睦を図る

(事業)  
第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

(1) 腎臓病患者・家族の医療と生活を守り、向上させるための法的、行政的、医学的要請を関係諸機関に働きかける

(2) 必要な資料・情報の収集と伝達

(3) 広報に関する事業

(4) 加入『患者会組織』間の交流

(5) 加入『患者会組織』の強化と未加入患者会の組織化

(6) その他の患者・障害者組織など関係団体との連携

(7) その他目的を達成するための諸事業

## 第3章 会 議

(種 別)

第5条 本会の会議は次の通りとする。

(1) 総 会

(2) ブロック会議

(3) 運営会議  
(総 会)

第6条 総会は本会の最高議決機関であつて年一回、前年度会計期間終了後、すみやかに会長が召集開催する。

2 総会は全体会議とし、文書による発言もできる。

(臨時総会)  
第7条 加入『患者会組織』の3分の1以上の要求があつたとき、またはブロック会議が必要と認められたときは臨時総会を開かなければならない。

第8条 ブロック会議は会長が召集し、運営会議の構成員及び幹事ならびに会計監査役により構成され、年度に2回以上開催する。

2 ブロック会議は付議事項のほかに、各『患者会組織』からの懸案事項等について協議決定する。

3 ブロック会議の決定は総会に報告し承認を受けらる。

(運営会議)  
第9条 運営会議は会長、副会長、事務局長、事務局次長、会計と運営委員により構成される。

2 運営会議は総会、ブロック会議の決定に基づき本会の運営に責任をもつ執行機関であり、必要に応じて会長が召集する。

3 運営会議の決定は、次のブロック会議に報告し、承認を受ける。

(会議の議長)  
第10条 本会の会議の議長はその都度、出席者の中から選出する。

(会議の運営)  
第11条 本会の会議運営は相互の意見を尊重し、充分な議論のもと合議を原則

とし、やむなく議決の必要が生じた場合は出席者の過半数の賛成をもって議決し、可否同数の場合は議長が決する。

(会議の付議事項)  
第12条 会議に必ず付議しなければならない事項は次の通りとする。

(1) 規約の改廃に関すること

(2) 事業計画及び経過報告

(3) 予算・収支決算、会計監査報告(運営会議は除く)

(4) 役員を選出に関すること

## 第4章 役 員

(役 員)

第13条 本会の円滑な運営を図るため、次の役員を置く。

(1) 会 長 1名

(2) 副 会 長 若干名

(3) 事務局 長 1名

(4) 事務局 次長 若干名

(5) 会 計 1名

(6) 運 営 委 員 若干名

(7) 幹 事

(8) 会計監査役 2名

(役員 組織) から1名

(役員 任免) 原則として各『患者会組織』から1名

第14条 前条における幹事は、

各『患者会組織』から推薦を受け、その他の役員は運営会議の指定した『患者会組織』から推薦を受け、それぞれにもプロック会議の議を経て、総会において承認決定する。

2 前項において、推薦されるその他の役員は、本会の幹事などの経験を有する者が望ましい。

3 運営会議の構成員に欠員が生じた場合の補充は、運営会議の裁量に委ねるものとする。

4 役員任期は2年とし、再任を妨げない。また中途補充の役員任期は前任者の残任期間とする。

5 役員兼任は出来ないものとする。

6 役員が本会の名誉を傷つけ、または目的に反する行為をしたとき、運営会議の議決に基づき退会させる事ができる。

7 本会に相談役、顧問を置くことが出来る。相談役、顧問は運営会議が委任する。

(役員の仕事)

第15条 会長は、本会の業務を総括し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある場合は

その任務を代行する。

3 事務局長は、事務局の業務を統括すると共に、運営会議の議決に基づき、その執行にあたる。

4 事務局次長は、事務局長を補佐し、各種事業の円滑推進に寄与する。

5 会計は本会の収支状況の經理を行い、総会において会計報告をし、承認を受ける。

6 運営委員は運営会議を構成し、活動方針の立案及び、総会、プロック会議の議決した業務の執行にあたる。

7 幹事は運営会議の構成員及び会計監査役とともにプロック会議を構成し、地元組織との連携を保つ。

8 会計監査役は、会計年度内に2回、現金出納簿、関係書類を監査し、プロック会議及び、総会において結果を報告する。

9 相談役はプロック会議運営会議に対し意見を述べる事ができ、顧問は本会の求めに応じて必要な助言をすることが出来る。

## 第5章 事務局

(事務局)

第16条 本会に事務局を置く

ことができる。

2 事務局員の採用は運営会議で決定する。

3 事務局は運営会議の指導のもとに本会の業務を執行する。

(事務局手当)

第17条 事務局長、事務局員には事務局手当を支給する。

2 事務局手当の支給額は運営会議で決定する。

(退職金手当)

第18条 退職給与規程により、事務局員に退職金を支給する。支給に異議あるときは、運営会議で決定する。

## 第6章 会計

(財政)

第19条 本会の財政は会費、寄付金、その他の収入によつて賄う。

(会費)

第20条 本会の会費は『患者会組織』の会員1名につき、年額4,200円  
(内訳：道腎協2,400円、全腎協1,800円)  
とし中途入会者は月割(月額350円)計算とする。

やかに納入しなければならぬ。

3 一旦納入した会費及び処出金品は、収支予算上、これを一切返戻しない。  
(会計年度)

第21条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(現金出納簿及び関係書類)

第22条 本会の収支状況を記録した現金出納簿、及び関係書類は総会において会計監査報告を受け、5年間保存したのち、廃棄処分とする。

## 第7章 附則

(規約の改正・廃止及び規程)

第23条 本会の規約の改廃は、運営会議で立案検討を経て、プロック会議の審議討論を得て、総会において承認決定する。

2 改廃した規約の効力は、承認決定した総会年度の始期(4月1日)に遡り施行する。

3 この規約に基づき、各種規程を設けることができる。

4 各種規程は別に定める。規程の作成、改廃は運営会議において行い、その内容は、プロック会議に

報告する。

(交通費、旅費、表彰、慶弔、退職給与)。

5 本規約は昭和53年6月18日、第1回総会において制定し、施行する。

6 昭和58年7月3日一部改正(全体総会、全腎協加盟他)。

7 昭和62年5月31日一部改正(事務局員の手当、道腎協の会費100円から200円に)。

8 平成元年5月28日一部改正(相談役、顧問の設置、役員の仕事に関する事)。

9 平成2年5月27日一部改正(全腎協会費10月から130円、翌3年10月から150円に)。

10 平成3年6月2日一部改正(退職金手当を設け支給、事務局次長1名)。

11 平成7年6月4日一部改正(役員任期2年に)。

12 平成9年5月25日一部改正(事務局次長2名に)。

13 平成11年6月6日大幅改正(役員の仕事)。

14 平成12年5月21日一部改正(会議の議長に関する事)。

# 平成21・22年度 役員(案)

役職名	氏名	地域患者会 組織名
会長	掛 札 聖	釧 路
副会長	近江谷 守	旭 川
"	佐々木 保子	オホーツク
"	水 島 裕	室 蘭
"	三 上 留美子	札 幌
事務局長	苜 木 芳 三	札 幌
事務局次長		
会 計	川 村 百合江	札 幌
運営委員	小 平 敬 明	旭 川
"	吉 野 美津留	岩見沢
"	北 征 子	小 樽
"	浅 見 恭 行	北 見
"	庄 野 一 男	札 幌
"	山 谷 眞 幸	道 南
"	井 原 忠 廣	と か ち
"	菊 地 秀 明	苦小牧
"	台丸谷 次 男	富良野
幹 事	柳 瀬 英 樹	旭 川
"	土 田 祐 子	岩見沢
"	小野寺 契 悦	浦 河
"	松 岡 スイ子	江 別
"	武 田 優 子	小 樽
"		オホーツク
"		北 見
"	河 野 正 子	釧 路
"	坂 孝 光	札 幌
"	田 辺 哲 明	札 幌
"	佐 藤 惟 文	札 幌
"	川 本 充	伊 達
"	佐 藤 眞美子	道 南
"	菊 地 正 雄	と か ち
"	平 野 陽 子	苦小牧
"	石 田 廣 治	根 室
"	—	深 川

役職名	氏名	地域患者会 組織名
幹 事	佐々木 悟	室 蘭
"	高 田 光 一	紋 別
"	浦 田 光 男	留 萌
"	福 田 茂 哉	稚 内
"	阿 部 純 一	士 別
"	佐 藤 勝 利	三 笠
"		富良野
"	佐 伯 英 春	小清水
"	—	名 寄
会計監査役	福 原 真理子	札 幌
"	高 橋 忠 男	旭 川
相談役	鈴 木 啓 三	札 幌
"	川 村 隆 志	札 幌
青年部部長	梅 原 孝 之	旭 川

## 【全腎協派遣役員】

役職名	氏名	地域患者会 組織名
理 事	三 上 留美子	札 幌
正 会 員	小 平 敬 明	旭 川

## 【道難病連派遣役員】

役職名	氏名	地域患者会 組織名
理 事	北 征 子	小 樽
評 議 員	小 平 敬 明	旭 川
"	山 谷 眞 幸	道 南
"	坂 孝 光	札 幌
"	庄 野 一 男	札 幌
事業資金委員	苜 木 芳 三	札 幌

## 【機関誌編集委員】

役職名	氏名	地域患者会 組織名
委 員 長	福 原 真理子	札 幌
委 員	久 原 幸 江	札 幌
"	柳 瀬 英 樹	旭 川
"	長 江 昌 子	釧 路
"	福 留 夕起子	室 蘭

※氏名欄の「—」は、役員推薦を辞退している腎友会です。

# 地域腎友会事務局所在地

会 名	〒	住 所	電話番号
旭川地方腎友会	078-8329	旭川市宮前東4155-30 旭川市障害者福祉センター「おびった」3F	0166-33-9083
岩見沢腎友会		岩見沢市	
浦河地区腎友会		浦河郡浦河町	
江別腎友会	069-0817	江別市野幌代々木町81-6 溪和会江別病院 透析室内	011-382-1111
小樽後志地方腎友会	047-0032	小樽市稲穂1-3-13 小樽ライフクリニック 透析室内	0134-25-3585
オホーツク腎友会		網走市	
北見地方腎友会		北見市	
釧路地方腎友会	085-0003	釧路市川北町4-17 身体障害者福祉センター内	0154-23-6687
札幌腎臓病患者友の会	001-0017	札幌市北区北17条西2丁目2-38 サザンアベニュー北大301	011-707-6789
伊達地方腎友会		有珠郡壮瞥町	
道南腎友会		函館市の場町	
とかち腎友会		中川郡士幌町	
苫小牧腎友会		苫小牧市緑町	
根室腎友会		根室市	
深川腎友会	074-0005	深川市5条6番10号 深川市立総合病院 透析室内	0164-22-1101
室蘭地方腎友会	050-0083	室蘭市東町2-1-19 室蘭市障害者総合福祉センター内	0143-45-6849
紋別地方腎友会		紋別郡遠軽町	
留萌地方水無人腎友会	077-0011	留萌市東雲町2丁目16番 留萌市立病院 透析室内	0164-49-1011
稚内地方腎友会	097-0022	稚内市中央4丁目11番6号 稚内市立病院 透析室内	福田 0162-22-5637
士別腎友会	095-0044	士別市東山町3029番地1 市立士別総合病院 透析室内	01652-3-2166
三笠腎友会		三笠市	
富良野腎友会	076-0057	富良野市住吉町1番30号 富良野協会病院 透析室内	0167-23-2181
小清水腎友会		斜里郡小清水町	
名寄市立病院腎友会		名寄市	
北海道腎臓病患者連絡協議会	001-0017	札幌市北区北17条西2丁目2-38 サザンアベニュー北大101	011-747-0217
(社)全国腎臓病協議会	170-0002	東京都豊島区巣鴨1丁目20番9号 巣鴨ファーストビル3階	03-5395-2631

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可H・S・K通巻445号  
平成21年5月10日発行(毎月10日発行)

発行所 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
印刷所 大塚印刷株式会社

(購読料は  
会費に含む)  
頁面150頁